

病院の特異的な環境

- ▶ 入院中の生活
治療、保護者との面会、友人または一人で遊ぶ
- ▶ 管理的な空間
食事、検査、治療(拒否権がない)、時間
- ▶ ネガティブな発言を許さない
つらい、いやだ、やめたい
- ▶ 子どもにとって親は絶対的な存在
親の心身を握る医療者

院内学級の楽しい・楽しくない

▶ 楽しい

- ・1対1で頭がよくなった(わからない問題を教えてくれた)
- ・イベント、行事の開催(運営と開催込み)

▶ 楽しくない

- ・つらい治療を受けているのに、なぜ勉強をしないと
いけないのか、もっと遊んでいたい
- ・ベッドサイド教育は友達がいないからつまらない
- ・先生の相手をすることが面倒くさい(中学生のみ)

▶ 入院しても勉強をしないといけないシステムだと思った

復学について

- ▶ 本人には話さず、保護者と教師、医師の間での情報の交換で具体的な支援は目に見えない状態だった
- ▶ 地域に戻りにくく、特別支援学校に転校した
- ▶ 学校の誰に頼ればよいのかわからない
- ▶ 食事や運動制限の話をして周りに理解を得た
- ▶ 外来の後に院内学級に赴き、学校生活や日々の悩みを話した